

令和7年度 第2回 長野市歴史的風致維持向上協議会会議記録（概要）

日 時：令和8年2月5日（木）

午前10時から午前11時42分まで

場 所：長野市役所第二庁舎10階 会議室203

●出席委員 13名

高見澤委員、宮下委員、久米委員、小林委員、石黒委員、山本委員、清水委員、長尾委員、古畑委員、徳武委員、中村委員、石坂委員、大日方委員
（欠席委員2名 土本委員、田中委員）

1 開 会

- ・会議は公開で開催し、傍聴者は無し
- ・委員総数15人中、委員13人の出席により定足数を満たしたため会議は成立

2 挨拶

高見澤会長あいさつ

3 協 議

- (1) 令和7年度 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について
- ・事務局及び事業担当課職員から、資料1-1、1-2により説明

委員：(4)-1、歴史的資源活用コーディネーター派遣事業について、平成26年度から令和13年度までの事業期間として、約10年間継続してコーディネーターを派遣し情報発信に取り組んでいるが、この事業の成果があるのか聞きたい。

市：歴史まちづくりに取り組む団体の皆さんから相談があった課題を解決するため、専門家をコーディネーターとして派遣する事業である。情報発信だけではなく、他の分野の課題に対しても、専門家を派遣している。令和6年度は、伝統的な祭礼があまり知られていないと相談があり、専門的に情報を発信しているながの観光コンベンションビューローに講師の派遣をお願いし、情報発信に関する課題を解決するためのアドバイスをいただきながら、取り組みを進めてきた。本年度も引き続き連携強化を図りながら、本市とながの観光コンベンションビューロー、鬼無里観光振興会のホームページをリンクさせ、広く情報発信をする仕組みを作ってきた。今後も、各地域の様々な課題解決に向け、専門家を派遣していく。

委員：(4)-2、空き家バンク事業について、地域活性化に取り組む方がいると説明があったが、具体的にどのような取り組みをしているのか詳しく

聞きたい。

市：地域活性化に取り組む方は、地域の方と積極的に交流を深め、地元住民の皆さんと一緒に祭りなどの担い手として参加している方が多数いる。重点区域内の方ではないが、中山間地域で携わっている方や地域おこし協力隊の任期を終えられた方が空き家バンクの物件を購入され、そのまま定住する方もいる。

委員：(4)－3、公民館・交流センターでの歴史講座事業について、新たに若い人の参加が増えているのか聞きたい。また、実施目的と効果、参加人数が年度により増えているのか減っているのか、参加者の年代層が上がっているのか、リピーターはいるのかなどを検証するために、参加状況などを調べているのか。

市：公民館など29館が、それぞれ毎年テーマを変えて講座を行っており、同じテーマで何人が何回来ているのか把握することはできない。また、講座に参加された方に無記名でアンケートをお願いしているが、毎回同じ内容の講座を行っているわけではないので、参加者がリピーターであるのか把握することは困難である。若い方の参加についても、同様に確認することは困難である。計画期間が令和13年度までであるが、公民館、交流センターにおいて、生涯学習を目的とした講座の中の1つとして歴史講座を実施している。生涯学習の一環として実施しているため、歴史的風致向上に効果があったかということ把握することは困難である。今後実施するアンケートにより、参加者の状況などが把握できないか、内容の改善を検討したい。

委員：この取り組みは、若い人に地域の歴史を知ってもらうためのものではなく、学びのための講座で、生涯学習が中心となっていることは承知した。アンケートにより、講座に参加してどのような知識を得たか、メリットがあったか、何回目の受講であったかを聞いてもらおうと、リピート率も把握できるのではないかと思った。

委員：(4)－4、松代歴史文化の発信・誘客事業について、まち歩きセンターでNPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会が活動していることは十分承知している。この事業では、松代の歴史・文化を発信し誘客につながると記載されている。行政が支援することで、誘客につながっているのか。また、どのような人的な支援やソフト面のフォローがなされているのか聞きたい。

市：人的な支援やソフト面でのフォローについては、広報面での支援として、NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会の「創作紙芝居のお披露目会」をはじめ、イベント等のチラシを市役所や市有施設へ配架している。また、月に1回開催されるまちづくり研究会において、観光関係のテーマの時には観光振興課の職員が出席している。今月は1時間の講演を予定しており、

一緒にまちづくりに取り組んでいる。松代テレビ局が毎週月曜日にインターネット配信しており、今年度は2回職員が出演し観光に関する取り組みを説明するなど、積極的に取り組んでいる。

委員：松代の観光客がなかなか増えないことの対策や具体的な方向性などあるのか。

市：タイトルが「歴史的風致を生かした観光振興、地域活性化に関する事業」となっている。観光施策を進める際、誘客する観光振興なのか、地域振興なのかということが議論となる。地域の祭りであるとか、文化財や文化振興寄りのお祭りもある。長野えびす講煙火大会や長野びんずるなど、県外、市外、あるいは国外からのお客さんが多く来るイベントは観光振興に当たると考える。一方、地域振興とは申しても生涯学習のように地域にあるお祭りや文化を学ぶもの、地域内や市内で交流するものもあり、観光に近いとも思う。地域内での人的移動も含めて、地域活性化と観光振興に結びつけていければと考えている。松代の真田宝物館は、数値で見ると海外から結構外国人の方が来られている状況である。海外に向けて松代を強くアピールしているわけではない中で、外国人の方が来られており、ポテンシャルを含めて、今後の方向性となると思う。

委員：松代に訪れる方の交通はバスなのか、タクシーなのか。また、長野駅からのアプローチや、どのようなアナウンスにより松代まで来られたのかななどを調べることにより、次につながるのではないかと感じた。

委員：(4) - 10、歴史まちづくりカード活用事業について、国土交通省と市が連携して平成30年に作成し、今年度1万枚を作成すると説明があったが、完売するほど出回っているのか。また、発行する価値みたいなことを具体的に聞きたい。

市：歴史まちづくりカードは、歴史的風致維持向上計画を策定する全国約80の都市が発行しており、カードを集めながら全国を回ってもらい、さまざまな地域を知ってもらう取り組みとして実施している。これまで、本市のカードは1種類であったが、今回、重点区域である善光寺、戸隠、松代、鬼無里の4地区のカードを作成・配布することで、それぞれの地域の良さを知ってもらい、人の流れを増やすことを目的として追加発行している。この取り組みをきっかけに市民の方にも歴史まちづくりカードや歴史的風致を知ってもらえるよう取り組んでいく。

委員：4、歴史的風致を生かした観光振興、地域活性化に関する事業全体について、ホームページやSNSでPRする事業が中心となっており、まちづくり課や文化財課、観光振興課など行政が事業を盛り上げるために、人が介入して応援したり、フォローアップしたりするような事業が見られないことに疑問を感じている。PRすればいいのか、SNSで発信すれば事足りるのか、情報発信だけで観光客が増えるのか。また、地域住民が増えてい

るのかということに対して、もう少し突っ込んで検討した方が良いのではないかと感じた。鬼無里、戸隠、松代、川田宿で開催されるお祭りも非常に立派であることは承知しているが、地域住民が減っている中で、未来永劫、継続していくため、今から具体的にこ入れをしていかななくてはならないのではないかと。地域住民でなくても、応援隊や協力隊など人を育てるなど、お祭りの担い手を増やすための対策があるのか聞きたい。

市：第1期長野市歴史的風致維持向上計画の11年間では、道路美装化や無電柱化などハード整備により、各地域の町並み整備が進んだが、ソフト面の取り組みが不足していることが課題となった。そこで、第2期計画では、ソフト面の取り組みとして、情報発信の強化を進めることとした。情報発信の方法などは時代とともに変化してきており、祭礼などを主催する小さな団体が取り組めていない情報発信について強化していくため、コーディネーター派遣や市ホームページ・SNSを活用した情報発信を重点的に進めている。情報発信は、祭りの主催者と情報交換しながら進めており、広く情報発信することにより、地区の出身者などが応援に来てくれるきっかけにもなり、地域がにぎわうことで活性化につながればと考え、現在は情報発信などソフト面の強化を行っている。特に情報発信力のあるながの観光コンベンションビューローと連携を強化しながら取り組んでいる。担い手については、鬼無里神社と善光寺祇園祭の屋台の引手として学生が参加する事例もあり、SNSによる情報発信も含めて充実させていきたい。継承するための担い手育成については、すぐにつなげていくことは難しいと考えるが、知っていただき、参加してもらおうことで、地域のにぎわいや、継承に結び付けていきたい。

委員：進捗評価シートについて、ほとんどの事業で実施・検討にあたっての課題と対応方針が書かれていない。事業の成果が上がればそのまま継続という方針となる。逆に、課題があれば対応も必要となる。他市のものはここまで空欄はない。逆に、市民の方々に、こういうことを実施して成果があったとPRすることにもなるので、課題や対応方針などを記載していただきたい。

市：課題と対応方針の記載については、今年度の実施内容を整理し、対応方針など取りまとめ、事業拡充に向けて対応したい。

委員：(4)－1、歴史的資源活用コーディネーター派遣事業について、一番下の写真が令和2年度と令和6年度のものであり、令和7年度の資料がない。令和7年度に何を行ったというアピールにならないのではないかと。

市：コーディネーター派遣について、本年度は地域の皆さんと協議し一緒になって情報発信することで、課題に取り組めたと考える。今後も、地域の活性化が図られるよう進めていきたい。

委員：コーディネーターを派遣した結果、例えばホームページで情報発信を行っ

たという形になるのであれば、その成果をこの中に入れ込んで、結果がこうであったという作りにすれば、成果が上がっているように見えるので、少し工夫していただきたい。また、資料に予定とか、〇月時点と書いてあるが、3月に公表するのであれば、時点修正をお願いしたい。

市：進捗評価シートに最新情報を記載するとともに、実施・検討にあたっての課題と対応方針や成果など、分かりやすく記載するよう改善していく。

委員：ホームページで公表しているとはいえ、市民が歴史的風致維持向上協議会についてどのくらい知っているのか。観光振興に結びつけることも大事であるが、地域の住民が誇りに思い、それを継承していくことが一番大事なことではないか。さらにそれが観光に結びつけばいいなと日頃から考えている。第1期計画の時から参加しており、全ての活動の進捗状況が計画通りであることはすばらしいことであるが、各部署の取り組みが市民に伝わって、みんなで何かをやろうという機運が全体で感じられない。参加者数だけでなく、市民の声みたいなものをそこに反映させ、長野市の生き生きとした取り組みが伝わるような報告にならないか。

市：この歴史的風致を維持向上していくことが非常に難しいテーマだと考えている。行政は、各セクションがそれぞれの目的に合った事業を企画から運営、実施まで行っている。例えば文化財保護だけではなくて、都市整備をするまちづくりを一体で実施する仕組みとなり、それぞれ連携するだけではなくて、市内一丸となって歴史的風致を維持していくことを目的としている。本来であれば、その成果を見える化することが課題だと思っている。その1つは数値的、定量的なもの。それから、アンケートなど定性的なこと、いずれの評価も定期的には実施している。個々の事業は、それをいかに歴史的風致維持向上の目的実現のために実施しており、我々事務局が相乗効果を高めていく方法を考えることが重要である。一方で、担い手不足については、何も歴史的風致を維持していくことだけのもではなく、各分野でも大きな課題となっているので、いろんな側面からてこ入れしていく必要があると思う。歴史的風致維持向上計画に位置付けた事業だけですべて解決することは難しく、うまくいかない可能性もある。しかし、どういった効果を出していくのか日々考えながら取り組んでいきたいと思う。まず、この歴史的風致維持向上計画だけでなく、歴史まちづくりということを広めていくため、その情報発信を実施していくことが第2期計画のスタートであった。特にこれからの担い手、若者たちにどういった発信をしていく必要があるのか。また、これまでのメディアだけではなくて、新たなメディア、あるいはさまざまな方法についても考えながら、関心をまず持ってもらう取り組みを着実に進めていきたいと考えている。本日ご質問、あるいはご指摘、アドバイスいただいたことは、参考にさせていただき、今後、どのような形で反映できるか検討して参りたい。

委員：(5)－1、松代町文化財保存活用推進事業について、老朽化にともない真田宝物館の建て替えが計画されている。今回の調査事業では、民間ノウハウを活用しながら、真田宝物館だけでなく、松代にたくさんある宝を活用し、経済的にきちんと回るようなエリア全体の提案が示されることで、この地域の活性化が図られるのではないかと思う。また、民間企業の誘致にもつながり、活性化の活路になるのではないかと感じた。しかし、民間企業が乱暴に入ってきて、松代の大事なところを損なうとか、地域住民を無視して開発を進めることとしてはならない。新たな松代の計画により、松代の泉水など大事な環境を生かしたまちづくりの第一歩となり、善光寺や戸隠など他のエリアにも広がる取り組みとなることを期待する。

委員：(3)－3、旧松代駅舎跡地周辺環境整備事業について、計画から旧松代駅舎跡地利用という言葉が削られているが、現在どのようになっているのか。
市：旧松代駅について、地元と今後の在り方について協議を重ねており、具体的な説明をできる段階ではないが、旧駅舎を保存する方向で進めている。

- (2) 令和7年度 長野市歴史的風致維持向上計画の変更について
・事務局及び事業担当課職員から、資料2－1、2－2により説明

○諮問「長野市歴史的風致維持向上計画の令和7年度進行管理・評価及び計画の変更について」に対して、本会議における意見概要を答申とすることを承認した。

4 閉 会

文化財課長挨拶